
第1章 健康ふっさ21中間報告の概要

1 健康ふっさ21策定の趣旨

生活習慣の変化、急激な高齢化等により、疾病構造について悪性新生物、糖尿病、心疾患、脳血管疾患と生活習慣病の割合が増加した。

こうした背景を受け、生活習慣病予防のため、平成12年に国民が主体的に取り組める新たな国民健康づくり運動として「21世紀における国民健康づくり運動」(健康日本21)が策定された。

また平成14年には健康増進法が制定し、“国民の健康の増進のための総合的な推進を図るための基本的な方針”として「健康日本21」が位置づけられた。

そして国、東京都の健康増進計画を踏まえた市町村版健康増進計画として、福生市民の「健康ふっさ21」が平成18年に策定された。

「健康ふっさ21」は、福生市民の健康づくりにおける指針として、日常生活のあらゆる場面で活用することを目的としている。

2 これまでの取り組み

健康ふっさ21は福生市民の健康づくりにおける施策を9つの分野から体系化したものである。基本理念の下、具体的に取り組むため9つの分野別目標を掲げ、計画を推進していく方向性を定めた。

その中で特に健康を保つために欠かすことのできない3つの分野を重点目標「食・体・心」と設定し、“健康づくり推進員の会”でも、この3つの分野について重点的に取り組み、地域から市民一人ひとりへの主体的な健康づくりへと繋がるよう事業に取り組んできた。

市民一人ひとりが自分自身や家庭でできることから始め、地域と行政も一体となって健康づくりに取り組む、健康であることの大切さを自覚し、肉体的・精神的により健康になることを目的としている。

そのためにも健康ふっさ21事業について、健康づくりに関心のある市民ボランティアで構成された、“健康づくり推進員”が重要な役割を担っている。

<h3>基本理念</h3>

～心も身体も笑顔で元気 みんなで築く健康のまち福生～

○各分野の主な取り組み

分 野	主な取り組み
健康づくり全般	健康まっりの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する情報の提供 ・健康相談の実施（血圧、体組成等の測定含む） 健康づくり講演会の開催 健康教室、健康相談の開催 広報・ホームページでの情報提供
栄養・食生活	簡単レシピの発行 食育イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・食育クイズの実施 ・レシピ配布
身体活動・運動	夏季ラジオ体操の実施 お散歩マップ作成
休養・こころの健康づくり	自殺予防対策 <ul style="list-style-type: none"> ・こころの情報誌発行 ・あいさつ運動（自殺防止キャンペーン：あいさつの大切さ、命の大切さを呼び掛ける）
たばこ	小学校での喫煙防止授業
アルコール	小学校でアルコールの害についての授業
歯の健康	乳幼児歯科健診の実施（フッ素塗布含む） 成人・高齢者歯科健診の実施
糖尿病	基本健康診査、特定健康診査・特定保健指導の実施
循環器病	基本健康診査、特定健康診査・特定保健指導の実施
がん	がん検診受診体制の整備 基本健康診査、特定健康診査・特定保健指導の実施

3 中間評価の目的と方法

「健康ふっさ21」は、平成23年度を目途に中間評価を行い、これまでの5年間の実績・現状の分析を行い、新たに取り組む目標値について設定を行った。

また、平成28年度には、最終評価を行う予定となっている。

目標の設定と具体的な諸活動の成果を適切に評価することによって、その後の健康づくりに反映することを目的としている。

中間評価を実施するにあたって、平成23年3月に策定時と同様の福生市民の健康に関するアンケート調査を実施（詳細および結果については第3章の資料を参照）した。

取りまとめた結果については、健康づくり推進員の会8月・9月定例会にて報告するとともに、健康づくり事業推進本部にて意見を聴取し、これまでの取り組みの評価と今後の方針について検討を行った。

○福生市民の健康に関するアンケート調査について

調査対象者：20歳以上の市民を対象に2,000人を無作為抽出

有効回答数：645人（回答率：32.3%）

